

花繚乱の

(昭和三十二年寮歌)

前島一淑君作歌・作曲

一

花繚乱の夢に酔い
地ちの囁ささやきの音ねに伏ふせば
草淑々くさしゅうしゅうの声こえすなり

二

夜光やこう流ながるる芝草しばくさや
辛夷こふしの花はなの香かに迷まよう
遠とほき憧あこがれ逝いにし日ひよ

三

窓辺まどべに招まねく幻まぼろしの
影かげにあくがれ彷徨さまよえば
森もりに桂かつらの火ひは燃もえぬ

四

今紅いまくれないの篝火かがりびよ
裸形らぎようの友ともは肩組かたくみて
去さり行ゆく青春はるを惜おしむかな

五

静寂しじま甦かえりぬ春はるの宵よい
銀漢ぎんかんの下もと希望ぞみなる
支笏しこうの湖うみに星ほしは飛とぶ